

みんなの県政

1977 / 1 No. 96 富山



富山県工業試験場

高岡市中川1-1-10 ☎(0766)21-2121

●表紙 新しい印刷技術で見事に仕上がった 業界をリードする銅器や漆器

高岡市中川の交差点にある工業試験場の空撮



新技術開発のために 各種の印刷機器を導入して研究する職員

大正二年、高岡市の地場産業

である銅器、漆器の技術改善のために創設された工業試験場は、新しい技術導入を図るとともに、機械や木工加工の技術指導や研究を重ねて、富山県近代工業の発展の礎を築いてきました。

そして昭和二十四年に井波（木

産化のための検討を加え、ついに印刷技術の新分野を開拓し、

いま業界の注目を集めています。技術開発の推進に予念のない工業試験場の毎日です。

工業試験場でつくった
業界指導製品の数々
(展示室)



工)、二五年に魚津（塗装）、次いで三八年には富山（機械）に分室を設置して、その分野は化学、機械金属、工芸を中心に各種試験研究技術指導および依頼分析鑑定、検査等と幅広く県の工業、工芸産業の振興発展に大きく貢献しています。

最近では、銅器、漆器の独特な伝統産業を活かしながら、新技術の導入や量

もくじ

富山県工業試験場	表紙・表紙 2	高速道路における冬期の安全運転	15
年頭所感 富山県知事 中田 幸吉	1	かしこい消費者シリーズ	
座談会		省資源時代の県民意識	16~17
フィリピン共和国から帰って		トビックス 11月15日~12月10日	18~19
第6回富山県青年の船	2~7	献体運動に協力しましょう	
1枚のきもの(物を大切に作る運動応募作文)	8	くすりと生活展	20
文化財を火災から護ろう	9	くらしの知恵 冷凍食品	20
ふるさと空から拝見・井波町	10~11	県有美術品(絵画)紹介シリーズ 水郷立山	表紙 3
農村の創意と工夫	12~13	献血にご協力を	裏表紙
健康で 楽しく 生産工夫	13~14		

年頭所感

富山県知事

中田幸吉



県民のみなさまおめでとう申し上げます

私は幼い頃から、自然の美しさ、自然の偉大さ、自然の力を体験し、教わり、長じて自然に魅力を感じ、信じ、驚き、そして、この自然を愛し、守ることこそ男子一生の仕事であると心に誓ったものであります。

この誓いは、現在の私の信念と変わり、私の政治信条としていっているところであります。

富山県の自然は、天下に誇る立山連峰をはじめ、名だたる山々を三方にいただき、急峻な多くの川が、豊かな水を平野にもたらし、根気強い、進取の気性に富む県民に、恵みを与え、産業を起し、富山湾の魚群を育てているのであります。

私は、この豊富な水資源をさらに有効に利用し、制御することこそ、人を育て、土地を肥やし、産業の発展を促すことになり、そこに県民同志の信頼と、親睦と、安寧の富山県が生き続けるものと信じております。

昨年は、世界においても、また日本においても、政治、経済に大きな変化をみせた年で、これらの多くの要素が今年にも引き継がれ、富山県といえども、心して対処しなければならぬ年でもあります。

このような状況の中ではありますが、幸いにして私は、私の政治信条である「愛と繁栄の県政」を、県民多数のご賛同を得て、着実な推進を図っているところであり、今後、私の自然にかける信念と同じように、ゆるぎなく押し進めてまいれる覚悟であります。

どうぞ、県民のみなさまには、ご健康で良い年となりますよう、お祈りいたします。

フィリピン共和国から帰って

第六回 富山県青年の船



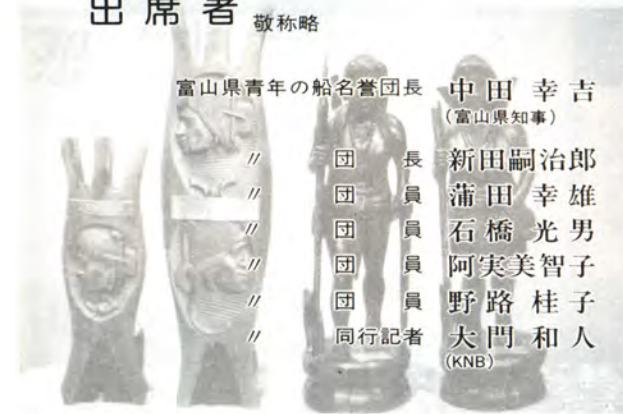
左から 大門記者 中田名誉団長(知事) 新田団長 団員の蒲田君 阿美さん 石橋君 野路さん

◆第六回富山県青年の船(一行一七名)は、フィリピン共和国を訪ね、十七日間の日程を終え、昨年十一月二十二日、無事帰ってきました。

◆次代の富山県を背負う若者たちが、遠く外国の地を、その目で、その足で確かめ、どんな印象を得たか。その代表に中田知事から聞いてみました。

◆これは、去る十一月二十八日(日)午前九時から、北日本放送で、県の提供番組「みんなの県政」で放送したものを、誌上再録したものです。

出席者 敬称略



富山県青年の船名誉団長 中田 幸吉 (富山県知事)
 新田 嗣治郎
 蒲田 幸雄
 石橋 光男
 阿美 美智子
 野路 桂子
 大門 和人 (KNB)
 長 員 員 員 員
 団 員 員 員 員
 同 行 記 者

知事 帰国途中の船(セブン・サイズ号)が、ずいぶん揺れたようで……。ご苦労様でした。新田(今回の団長)さん、今度の日程を簡単に……。

船が揺れて一日遅れた

新田 七日の朝、羽田を立ち、マニラに十三時頃着き、マニラに二泊した後、九日飛行機(YSSGS)で三班に分かれてバギオに飛び、ここで一泊、あくる日(十日)はパウアンで一泊、ここからマニラにまた帰り一泊、翌日(十三日)船に乗りセブ島へ

向かい、翌日(十四日)の十五時に着き、船の中で一泊、そして十五日の二十三時頃に、船で神戸に向かって帰路に着いたのですが、セブを発ってからすぐ海が荒れてしまっ、船のスピードが出なくて、結局一日遅れて神戸に着いたということですが、暑くて暑くて、知事 たいへんだったでしょう。私も最初の二日間同行したんですが、まずあの暑さにまいったです。まるで地獄の釜に近いようなので(三二度)。あと一日は

リサールの銅像に献花したり、大使館表敬や、マニラ市長にお



地獄の釜に近づいた……と 中田知事

会いたりした訳ですが、その時の印象だけでも、たいへんな暑さで……。ここでさらに強行日程を続けると、団員に病人が出るんじゃないかと心配していたんですが、みんな元気だったのでしょね。

新田 そうです。若さです。私が一番バテたようで(笑)。

知事 さて団員の方四人みえてるんですが、印象を簡単に

パウアンにフィリピンを見た

蒲田 マニラに着いての印象はマニラ市街は確かに、例えばリサール公園とか口ハス通りは整然としていて、いつも清掃されているという感じがしましたが、一歩そこから外れると、何か、いかにも東南アジアの街らしい、わい雑な感じがしました。

第六回 富山県青年の船日程

日次	月日曜	地名	宿泊地	行動予定	名誉団長日程
	11・5 (金)			14:30~ 結団・壮行式(4F大ホール)	同左出席
1	11・6 (土)	富山	車内	富山発21:53(特急)北陸号 B環台	富山空港 10:05発 ↓ 羽田空港 12:10着 羽田空港にて合流 後同左
2	11・7 (日)	東京 マニラ	マニラ	上野着 5:45 羽田空港着 7:00 羽田空港発 9:15(JAL) マニラ空港着 12:45 ホテル着 13:45	同左
3	11・8 (月)	マニラ	マニラ	リサール公園/サンチャゴ要塞/国立博物館/モンテンルパ/現地青年との交歓会(ガールスカウト、赤十字社、JOCV)/表敬(日本大使館、マニラ市長、観光省)等	同左
4	11・9 (火)	マニラ バギオ	バギオ	マニラ空港発 8:00(PR) バギオ空港着 9:00 日本人戦没者慰霊碑と平和の塔/イゴロット部落/織物工場/スポーツ交歓(バギオ大学)/交歓会/表敬(ベンゲット州知事、バギオ市長、観光省支所)等	マニラ空港 10:30 ↓(NW6) 羽田空港 16:50
5	11・10 (水)	バギオ パウアン	パウアン	農業現場視察(ドン・マリアノ、マルコスメモリアルステックカレッジ(稲作・果樹)/マルビ小学校(野菜)/交歓会	
6	11・11 (木)	パウアン タールラック マニラ	マニラ	リンガエンビーチ/タールラック/マハラカット(神風特別攻撃隊の最初の発源地)/バス乗車時間7時間	
7	11・12 (金)	マニラ	船中	タバコ工場/織物工場 (出国手続)	
8	11・13 (土)	洋上	船中	マニラ港発 8:00 (セブサイズ号)	
9	11・14 (日)	セブ	船中	セブ港着 15:00/歓迎セレモニー(知事、市長)/ビバリーヒール/マジェランクロス/サン・オーガスチン教会/交歓会(知事、市長等関係者招待)	
10	11・15 (月)	セブ	船中	ギター工場/タンブリービーチ/ミッションスクール/サンペドロ要塞/友好訪問(ガールスカウト連盟セブ支部)/セブ港発22:50	
11	11・16 (火)	洋上	船中	洋上研修	
12	11・20 (土)				
16	11・21 (日)	洋上	船中	神戸港沖15:00(検疫、入国手続) 17:00 神戸港入港	
17	11・22 (月)			神戸港発 9:30 バス 解団式 18:00 (県民会館401)	

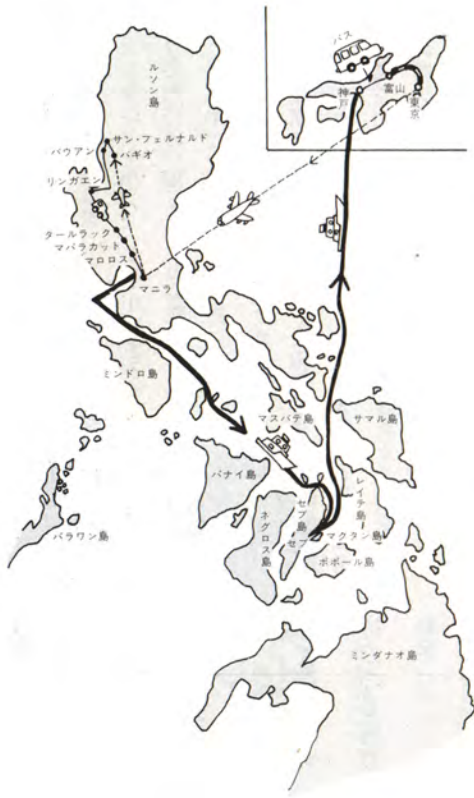
◆車内1泊/船中10泊/ホテル5泊(マニラ3泊、バギオ1泊、パウアン1泊) 17日16泊

それとは対象的になると思い



わい雑な感じが……と 蒲田団員

ますが、パウアンの街へ行きまして、初めてフィリピンへ来たなアという感じがして……。非常にのどかで、人々の生活は貧しいのですが、何か心が豊かというか、健康的なんです。みんな



明るくて…

朗らかにたくましい子供

阿実 フィリピンの子供たちが
すごくたくさん（一家族平均
八・八人）いるわけですね。私
が会った現地の人は「私のところ
は一ダースだ」というような
ことで…。しかし子供はすこ
く人なつっこくて、朗らかで、
私たちが行くと家から飛び出し
てきて「イラッシャイ」と手を
振り、陽気でたくましさを感じ
ました。

知事 そうですか。石橋さん、
交換会での印象も混えて…。

今、無気力だが十年後は

石橋 貧富の差が激しいことを
感じましたが…。交換会での現
地の人、協力隊（日本から指導
に行っている人たち）の人が話



貧富の差が激しい…と
石橋団員

しているのを聞いてもそういっ



セブのスラム街

風におっしやるし、非常にノン
ビリしているのだとも言ってお
られました。先進国から見ると、
何かスローで無気力に見えるわ
けですが、これを若者たちや学
生に聞いてみますと「十年後を
見ていてくれ、日本には追いつ
けないと思うが相応の国にはな
るだろう」と、新しい息吹きが
感じられました。

ビルディングの横に牛が…

野路 全体的な印象ですが、何
かアンバランスの感じがしまし
た。中間がなくて両極端がある。
例えばフィリピン全土を見ると、
マニラ市だけが国際的に、政治



マニラ市内

的にも経済的にも太刀打できる
市ですが、第二の都市とすれば
セブで、人口は百万を割り、こ
れといった産業もない。
また、マニラ市内には、例え
ばロハス通りには、すごく近代
的なビルディングが並んでいる
のですが、そのすぐ横のヤシの
木には、牛がつながれて草を食
べているという情景が見られる
んです。それが何か明るい南国
の太陽に照らされている故か、
全然淋しさとか、悲惨とかとい
うのでなく、明るい印象を受け
ました。

知事 どうも…。初めて行っ
た者ばかりですから、非常に物



時間が欲しかった…と
大門記者

珍しいが先にたつて、例えば第
一回の交換会に私も出席したの
ですが、あまりハシヤギ過ぎて
（これはどうも大丈夫かいナア）
と心配したのだが、まあケジメ
よく終わってくれましたが、その
顔つきから非常に楽しいんだな
アという印象を残して私は帰っ
たのですが、大門（KNB放送
記者として同行）さん、どうで
した。

取材に時間がなくて残念

大門 取材らしい取材はできな

かったですね。カメラのファイ
ングーを通して見ていたので、
表面的にはしか見えませんが、
現地の人たちと直接話し合う機
会もなく、もう少し時間的なゆ
とりがあれば、もっと内側など
も取材できたろうにと思い、そ
れが残念でした。

知事 過去五回もそうでしたが

ずといますか、はるばる行っ



青年はいいナア…と
新田団長

て良かったと思いますね。

それから英語はみんな、あま
り上手ではなかったと思いま
す。交換会の時に結構楽しく、
随分とうちとけて語り合っ
ていますね。若さ、青年って
いいなアという気がしました。

どれが日本人か比国人か？

知事 マニラの交換会の時に思
ったんですが、団員と現地の人



日本人と全く交わらない顔立ち

そして協力隊の人、どれが日本
人でどれがフィリピンの人なの
かよくわからない（同笑い）。
それくらい顔がよく似ている。
皮ふの色もそうですが…。私
の隣にいたガールスカウトの支
部長さんが、「実は私もこの間
ヨーロッパへ行きましたところ
へお前は東京から来たか」と間違
われた」と言っていました。が、
そういう親しみというものがあ
りますね。

市長を訪問されたネ

大門 先程ノンビリしている
という話が出ましたが、知事がマ
ニラ市長を訪問されましたネ。
あの時十分も待たされました
が、会ってどうでした。

市長ノンビリ役所は家庭的

知事 別に「お待たせしました
」ということもおっしゃいませ
ん（一同笑い）。まあ表敬です
から極めて友好的に挨拶を交し
たのですが、終ってからバスを
待っている間、あの市長、余程
忙しいのかナアと見えていますと
なーんかその辺りをウロウロし
ながらコーヒーを飲んで雑談し

ていました。あれも仕事の一部
だと思つてますが…。ひとつ私は
うらやましいと思つたのは、市
民が市役所の中にたくさん入っ
ていたでしょう。

大門 そうでしたネ

知事 「公」というのですが、
自分の家のような、そんな感じ
を受けたので、これは日本の国
はこういう点、チョット肩をい
からしているんじゃないか
という気がしました。

戦争の傷あとは…？

知事 ところで、私が一番心配
していたのですが、戦争のこと
なので…。まあモンテンルパ
へ行って簡単でしたが慰霊祭を
やって、一同肅然としたのです
が、その後どうでしたか。嫌な
思いがありませんでしたか。

新田 殆どありませんでしたが
ラ・ウニオン州（パウアン）のサ
ンフェルナンド市長を訪問した
時に、市長がへきようは敵とし
てでなく、友としてお迎えしま
すの中で「エネミ（敵）とい
う語句を強く言われたので、ド

キツとしましたが、それ以外は
親しみを感じました。



日本人墓地に卒塔婆を建てる知事

知事 若い連中は世代が違うわ
けですから、そうした（戦争の
しこり）ものがないと思いま
すが、団員の中ではどうでした。

石橋 セブを出る時に、われわ
れがテープを投げたのですが、
その中で、中年過ぎた婦人がヒ
ョイと拾われるのが見えたので
テープを持って
もらえるのかな
と思つて見てい
たところ、その
テープを千切っ
て海へ投げられ
たんです。これ
には何かこう、



成果の挙げたスポーツ交換

成果挙げたスポーツ交換

複雑な気持ちになりました。
知事 なるほど。日本軍の手に
よって、責任のなかつた人た
ちが苦しめられたという、まあそ
うした心苦しきといったものが
私たちにもあったのですが、そ
うした中年以上の方々の間には
割り切れない気持ちというもの
が多分にあるのでしょね。

友好親善に「役」協力隊

ところで日本から行っている
協力隊の中で、大学で柔道を教
えているという方と話しまし
たが、ああしたもの非常に日比
友好親善に大きな役割を果たし
ていると思つたのですが、バギ
オとかパウアンではどうでした。

招かざる客がゾロゾロ

記者諸君が自分の意志で取材す
る機会がなかなか…。
大門 そうですね、団員と一緒
に行動していますから。
知事 ところで団長さん、非常
に良かった点と、非常に困った
点、両極端ですが、一つずつ聞
かせて下さい。

新田 困ったことは、実は知事
が帰られてからハブニングの続
出でして、バギオの交換会とパ
ウアンの交換会で、招かない人
がゾロゾロ入ってきたりしまし
て、そういう点ノンビリしてい
るといふかノンキなのか、まあ
結果的には交換できて良かった
のですが、一時はどうなるかと
思いました。

百聞は一見に如かず

良かったことは、日本以外の
国を、若い人たちが自分の目で
見ることができたということが
非常に良かったと思います。こ
れによって日本との比較が出來
るし、やはり百聞は一見に如か



海水浴と楽しんだ。セブのタンブリ・ビーチ

貪しくも明るく

蒲田 田舎へ行ったのですが、何か一種、気分爽快さを感じました。貧しいことは貧しいのですが、ひとりひとり非常に明るくて、日本のように時間に追っつけられることもなく、人間の安寧の姿というか、それを見た感じがしてとても良かった。

今後、スポーツ交換というのはいいですね、青年の船には：知事 そうですね、親しみがウソと湧いてきますからね。

さて、団員の方々、今度の青年の船で何を得てきたか、こんなことが一番良かったとか、こんな体験をしたとか、というようなものをごとぞ。

なるということ。

ところでここ(座談会)に来ていない八四名の団員の方たちの話題もあると思いますが、フィリピン一週間の思い出など、いかがですか。

新田 協力隊の人の話ですが、フィリピンは米が三回穫れるの



マルコス農科大学を訪問

です。毎日食べましたが不味いんです。そこでもっとうまい米を作れないのかと聞くと「味はこれで充分だ。もっとたくさん穫れる方法を教えてくれ」というそうですよ。

それから果物が三千種もあるそうです。とにかく最低生活で



子供たちを思うと...と 阿実団員

うほうでした。それが、日本ガデーデンに行った時に、その奥さんという方が一生懸命芝生の手入れをしておられるのを見て、すごく対象的であることを覚えました。新聞等でも遺骨収集ということは知っていましたが、実感としてはピンと来ないものがあつたんです。行って見て「嗚呼」と思い、家の父の話とも合せて考え、心に残りました。

また、先程も子供の話をしましたが、物売りがすごく多いんです。バスのガラス戸を叩いて...。コレ、シエンエン、シエンエン(千円、千円)と言っ

て。本当に。子供たちは卑屈ではないんですが、そういうところが...どうも...

肌で感じて外国を知る

石橋 私はとにかく外国へ出て

この成果がでてくるんじゃないかと思えます。

団員は地域社会のリーダーに

知事 そうですね、技術面にしても参考になるものはないです

ね。それよりも、大門さんが言われたように、外から日本を見る、そして先程の自分の肌で外国を感じる。この二つが青年の船の大きな目標でしょうね。そして自分達の今までの生活・態度を反省するというところでしようか。

団員のみなさんには、これから



ゆれる船上で研修

みることではないかナアと思えました。頭の中では知っているつもりでも、実際の実感というものは違いますし、肌で感じて見るといのは一番良いんじゃないかと思えました。

フィリピンの文化に接して

野地 私たち日本人は純粋民族として、長い歴史を培ってきたわけですが、フィリピンの人た



マニラでの出迎え風景

ただ、フィリピン全体を見ますと、正直に言って日本に比べ

社会に帰って、社会団体や地域のリーダーとなって活躍されることを期待している訳ですが、そうした反省の上になつて、ひ



知事と握手する3人の留学生(左からベレス君、アルベルトさん、ラサットさん)

とつ指導していただきたい。

私はいつも思うのですが、はじめの研修(青年の船の事前研修)の時は、あまり手が挙がらず、発言も少ないが、帰つてくると人が違ったようにという「おおげさ」ですが、よく発言される。随分積極性がついてくるのではないかと。青年の船の



苦難の歩みを...と 野地団員

ちは、三百年以上にわたるスペインの支配と、そのあと五十年位にわたるアメリカの支配の中

で生きてきた。日本人が想像できないような、民族の苦難の歩みの歴史を続けてきたと思うのです。

往く時は飛行機でたった四時間半の旅でしたが、帰りは船で一週間もかかったわけですが、日本とフィリピンの距離というのはやはり、空路でなく海路の距離だと思つたのです。

そうした離れた国に、全く違った文化があるということ、この目で見られたということが一番嬉しいですね。

米はパラパラで不味い

知事 そうですか、青年の船は南米の時以外は必ず、往きか帰りに船を使つているわけで、船の中でより一層、団員が親しく

で、そんなに参考になるものは無かつたと思えます。

これも大きな成果では...と思つています。

事後活動も大切な青年の船の仕事ですから、ガンバッテいただきたい。大門 ところで知事さん、今回三人の留学生をお呼びになりましたね。

初の試み 留学生の招待

知事 そうなんです。今度の船で初めてのことなんです。一人は(ラサットさん)一年間、開さん(ガールスカウトの関係で副団長として同行)のところにおいて、富山大学の聴講生として勉強するのですが、あと二人(ベレス君・アルベルトさん)は、一週間位滞在して、日本のあちこちを視て帰るんです。こうしたことが、船の成果を倍加する方法だと思います。たいへん喜ばれているようで、良かったと思つています。

母の古いアルバムを見ていたら、びっくりした。それは、母がわたしのきものを着ているからだ。

母にくわしいことを聞くと、七五三の時にとった写真で、実は母のきものをわたしが着ていたのだった。

その写真には、満足気な母の顔がある。このことから、とてもお気に入りだったことがうかがえる。



お母さんの子供の頃

わたしの写真も、とても満足 気に写っている。このきものは



緑さんの小さい頃

物を大切に作る運動応募作文から

例年のことながら、子どもたちの作文にはいつも驚きを感じます。それは、実に素直だからです。今年の応募四三〇篇もまた例外ではありません。

ここに掲載した「一枚のきもの」にしても、単に「おさがり」という気持ちにはみじんもなく、何ともほほえましく、限りない愛着と、むしろ誇りをさえ感じているのがわかります。

こうした中の一編は、社会人としての私たちに何かを教えてくれていると思います。

喜び、悲しみ、愛、憎しみ、いろいろな感情がこぼれ出ている。このきものを着ていく、

昔も今も、上品な美しさをたたえ、人気物である。わたしも、そのころはとてを着たくてたまらなかつた。だから、お正月に父の里に帰るといつたら、よく、

さゆりちゃんはこのきものが大好きで、さゆりちゃんのお父さんも、お母さんも、どうしてもしゆりちゃんにきものを着せたかったのだ、わたしのきものをあげると言ったとき、それは、それは、喜んでくれた。

「スリランカに帰っても、いつまでも大事に宝物にする」と、何十年も、昔のきものが、

人から人へと心と共に、わたつて行き、外国まで行って大切にされるなんて、このきものを買

つてくれたわたしのおじいさんは、今はいないけど、さぞ満足だろうなと思った。

このきものを通して、一枚のきものを何人もの人が着て、思い出をつめるといことは、と

文化財は、幾百年あるいは幾千年の歴史を持って今日に伝えられてきております。

この文化財を後世に伝えることが、私達の努めでありませう。

法隆寺の建造物でみられるように日本の文化財の特質は、木や紙でできているものが多いため火災等に大変弱く、常に災害の危険にさらされています。

県では、文化財所有者と協力して、建造物には、自動火災報知設備や消火栓を、美術工芸品には、それを納める耐火の収蔵庫の設置を積極的に進めてきました。

文化財を護るためには、防火施設とともに、不時の災害に対応できる防火体制づくりが大切です。毎年一月二十六日を文化財防火デーとして全国運動がくりひろげられます。本県でもこの日を中心に、所有者、自衛消防隊、地元消防署、県、市町村が一致協力して防火演習や防火査察を行なっています。文化財を護るためには、何よりも火を出さないことが大切です。このため県民一人ひとりが不断の努力と注意を惜まず、この大切な財産を後世に引き継いでいきたいものです。



◀五箇山合掌造り「岩瀬家」の防火訓練

文化財防火デー 1月26日 文化財を火災から護ろう

国宝・重要文化財建造物防災設備設置状況一覧

(昭和51年4月1日現在)

区分	指定数		総合防災設置棟数	部分防災設置棟数	未設置棟数	自動火災報知設備設置箇所	消火設備設置箇所				その他設置箇所	
	箇所	棟数					消火栓	ドレンチャ	貯水槽	ポンプ	避雷	その他
富山	11	15	12	2	1	10	9	0	4	1	5	2

でもすばらしいことだと思ふ。わたし達はよく、お古をいやがるが、それは、思い出がつまなすばらしいものなのだ。そして、物を大切にすることに、つながつている。

そんなすばらしいものをいやがつていたなんて、自分はずかしくなってきた。

また、物を大切にすること、これは、きものだけでなく、わたし達がよく使う、えんぴつや消ゴム、ノートなど、あらゆる物に対して言えることだ。

物を大切にすることも知らないわたしたちの時代。今にきつと物がなくなる時代がくるだろう。そして、そうなるからではもうおそいのだ。

そんな時代に備えて、もっと物を大切にしなければと思つた。

(注) 文中「さゆりちゃん」という名の子について、両親とも、スリランカ人であるが、日本生まれ故に「サユリ」と名づけられたものである。正しくは、「サユリ・ネルソン」作者両親の知人の娘であるという。

ふるさと

空から拝見

井波町



八乙女山の連峰を背に、散居集落の砺波平野を一望できる閑乗寺高原に、扇状に広がる井波町は、越中の「小京都」と呼ばれ「信仰と木彫り」で象徴される。中京地区への輸送道路国道一五六号が北東部を縦断、市街地中心に放射線状に伸びる四本の県道、この幹線を経済、生活の基盤をなしている。市街、住居、工業地域との調和を図りながら、あら

ゆる農業振興施策を総合的に進め、生産性の高い農業を形成し、今年から生活環境の改善事業が着手された。また、ここ数年で保育所、小学校、中学校、社会体育館、社会福祉センター、そして砺波平野の上水道を一手に引き受ける松島浄水場などが、次々と完成したのである。

「美しい環境の住みよい町」「活気に満ちた豊かな町」井波は、香り高い文化的な町へと発展を続けている。

農村の創意と工夫

第2回 農家生活改善工夫展示会から

あり、グループ員数は五五三三名です。

入賞二〇点

今年の出品総数は、六二点で昨年（第一回）より質、技術ともに優れたものが目立ち、農業との関連、農家生活の良さを生かした作品が多く出されました。入賞作品は二〇点で、氷見市の新保生活改善実行グループが、知事賞を獲得しました。次に上位入賞作品を紹介します。

イチゴ摘台車と作業衣

氷見市新保生活改善グループ 小谷口 国子

イチゴつみとり作業の中腰と重労働を軽減するための台車と露にぬれるのを防ぐ作業衣を工夫した。（別掲参照）

農産加工

婦中町文化会 柞山美津子
立山町五百石家計簿グループ 十松悦子

農家にある農産物を乾燥あるいは各種漬物にして長期保存する工夫をした。（別掲参照）

大根水洗い用手袋

福光町若菜会 岩崎久子

地域特産である大根、かぶを洗うのに、早く、きれいに、らくにできる。古い婦人用ストッキングを利用して手袋を工夫した。

砺波市若竹会

松本鈴子

灯油の空缶を利用して、作業場



イチゴ畑で試運転

や家庭内でも使える椅子を工夫した。

農家生活技術の開発と定着をはかるため、こうした工夫展示会を来年も開催します。

農産加工

おいしくて便利

卵の花漬

塩づけよりも色がきれいに仕上がりに何でも漬けることができます。卵の花と塩は同量の風袋例えばボール一ぱいの塩と卵の花をまぜて用います。卵の花はからいりすると野菜の色がきれいに仕上がるので、面倒でも、からいりにし、常に容器に保存しておくのが便利です。漬けるものは竹の子、いんげん、ふき、おくら等何でも漬けることができます。漬けあがったものは、粕漬や味噌漬に、塩出ししたものは煮物に用いられます。

椅子

味噌漬

生または塩漬した野菜を、味噌、みりん、酒をまぜた中に漬けます。味噌の量が多ければ長

地域ぐるみで推進 健康で楽しく生産工夫

農業者健康モデル地区の活動

氷見市新保地区

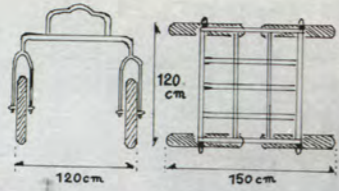
農業者健康モデル地区は、農業生産集団の人たちが健康で生産活動に従事できるよう、農業改良普及所が主体になって五十年前から四力年計画ですすめている事業です。この対象になっている地区は、現在八カ所で、魚津市中島、富山市神明、小杉町池多、氷見市新保、

入善酪農、高岡酪農、井波酪農、南砺酪農の、ろ地野菜と酪農の集団の方々です。今回は、この中の氷見市新保地区の活動状況をお伝えします。

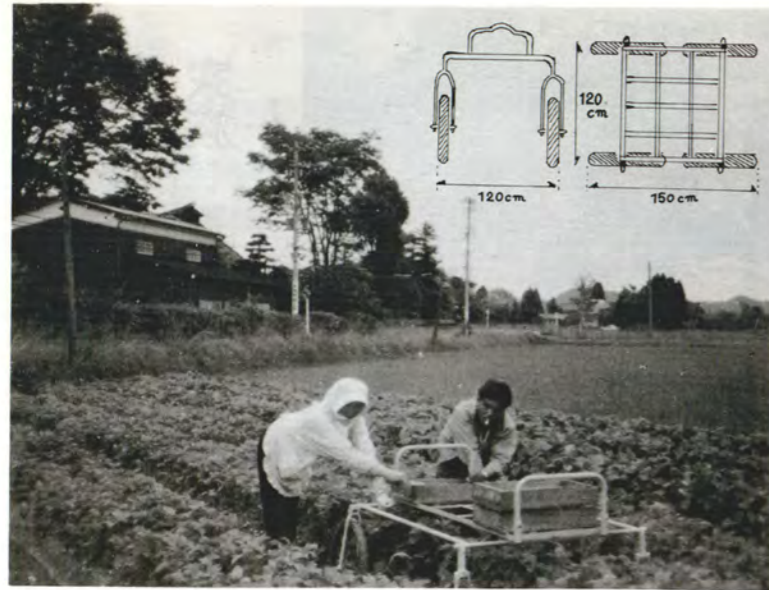
イチゴ摘台車で知事賞獲得

氷見市新保は四九戸の集落で県内でもイチゴ栽培地帯として名高いところ。水稲も平均一ヘクタール、いちごは十アール耕作しています。昨年十月に普及所、市、農協、地元イチゴ出荷組合、婦人の代表者らによる地区健康づくり推進協議会が設立され、自主的にこの事業と取り組んでいます。

イチゴ栽培は機械化できる部分が少ないため、家族の手労働や中腰作業が多く、腰いた、肩こり、冷え症の人が多くでました。そこで普及所では、厚生連高岡病院に依頼して健康診断を行うと同時に、中腰作業のイチ



イチゴ車とその構造



ゴつみとりを少しでも楽にと、農家の人たちと協力して、つみとり車を試作しました。規制品は出ていませんので、うね巾や湿田のぬかるみを考え、自転車車輪を利用し、鍛冶屋へも何回か通った結果、やっとこの地区に合うつみ台車を作ったのです。「身体がぐんと楽になった」と大変好評です。この車は十月末の農家生活改善工夫展で知事賞を獲得したので、来年の収穫期は市外の産地にも波及するでしょう。

作業衣にも一工夫

イチゴつみ台車とともに改良し

期保存になります。みょうが、しその実、さんしょの若芽、菊の花など季節のものを漬けてください。

甘酢漬

塩漬した材料を半日ほど陰干しにし、酢一カップに砂糖大さじ二〜三を入れて煮立ててさまた中に漬けてみます。みょうが、きくの花、きゅうり等が合います。

シロップ漬

季節の果実をビン詰めしておくのが便利です。くり、いちじく、梅があり、これらはおのおの作り方が異なりますが、実をゆでて別にシロップを作り、この中に漬けてみます。この場合、実と水の65%以上の砂糖を入れることと、ビンの消毒、脱気をしておくことがコツです。

乾燥

生またはざつとゆでたものをよく干して缶に保存します。あかぎ、ずいき、芋づる、山菜等（農山漁家生活近代化センターから）

たのは作業衣です。五月とはい
え朝四時頃の仕事なので、
肌寒くて露にぬれることから、
ゴム引きナイロンタフタで男女
の作業衣を作り全戸で使って
ます。軽くて温かく働き易いと
これまた好評で、他の地区にも
広まっています。

他に、農繁期を乗り切るため
に、五月の出荷最盛期十日間の

家族ぐるみでコミュニテイ



地域ぐるみの研究会

婦人たちの講習会



地域全体が健康管理に関心

共同炊事や、夫婦共同学習で野
菜産地への視察や健康生活教室
を開催しました。共同炊事は夜
のおかずを中心に一日80食もつ
くりました。一人二〜三品程度
で、一七五円と手間をかけずに、
安く美味しくものが食べられ
ると喜ばれ、来年は半月間程実
施しようと計画されています。

また、よく学び、よく遊びで
七月には、松太枝浜での親子健
康づくり教室にも参加し、体力
テストやバーベキューに舌つづ
みをうち、なごやかな日を過ご
す等、地域のコミュニテイづく
りも熱心にすすめられています。

こうした活動によって、健康
について関心が高まり、主婦で
は栄養の勉強を月刊雑誌を読
む人がふえたり、地区では、腰
や背すじを伸ばす運動がしやす
いようにと、公民館に鉄棒をそ
なえつけることになりました。各
家庭では体重計を備えついたり

健康づくり設計書に記録するな
ど、一戸一戸が家族揃って自分
の健康管理に気をつけています。
新保地区の人々は、今年も一年
の反省を兼ねて、健康な暮らし
の設計を立てようと、改造の成
った公民館に集まって、きょう
も生活の勉強をしています。



故障したらすぐ電話を

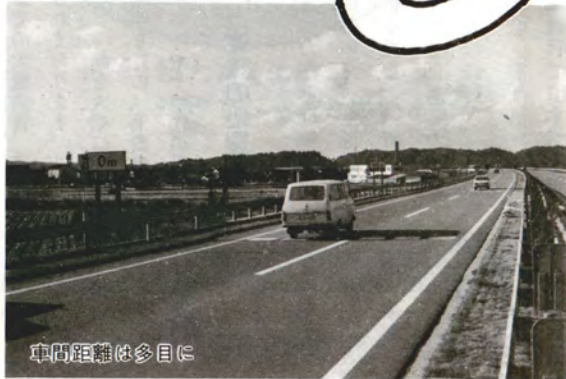


高速道路の冬期間における安全運転

急ブレーキに注意 スピード

北陸高速自動車道を利用される方が増えて
います。利用者は次のことに十分注意して下
さい。

- 一、気象情報は早目に
冬のお天気は急に変わります
あらかじめ天気予報等で、気象
状態をよく知って、高速道路に
入るように入らしましょう。
- 二、東两点検は十分に
すり減ったタイヤはたいへん
危険です。特に積雪・凍結のあ
るときは、必ずスノータイヤ、
またはチェーンを着けましょう。
- 三、スピードは控えめに
吹雪・濃霧等で視界が悪いと
きは、スピードを落とし、安全
速度で運転しましょう。
- 四、車間距離は
多目に
車間距離は平
常の二倍を保つ
ように入らしまし
う。五〇〇の場
合は一〇〇に。
五、急ブレーキ
は禁物
高速道路で、急
ブレーキをかけ
ると事故の原因
となります。
絶対にしないよ



車間距離は多目に

車両の点検十分に



パーキングエリア等で休息を



気象情報を確かめて



- 六、突風に注意
高速で走行中、突風や強い横
風に出会うことがあります。そ
のような場合は、ハンドルをと
られないようスピードを落とし
て運転しましょう。
- 七、退避駐車は安全な場所
で
うにしましょう。
- 八、非常電話の利用
気象状態が悪くなり走れなく
なったときは、努めてパーキン
グエリア等安全な場所に駐車し
ましょう。
- 八、非常電話の利用
事故・故障等が発生したとき
は、沿道の非常電話で連絡をと
りましょう。

省資源時代の 県民意識

●「ゴミ」の収集状況…?

家庭から出るゴミの処理は、「ゴミ回収時」に出すと回答している人が、両結果とも85%を占めています。そのうち、分別収集かどうかについては、全国結果の63・2%に対し、本県では77・6%と若干高い数値を示しています。調査時点で2年間のズレはあるにしても、それでもなお分別収集が進んでいる、と言えましょう。また、今後さらに細分化した分別収集を行なっても、充分対応出来るとする人が多く見られました。(図1 2参照)

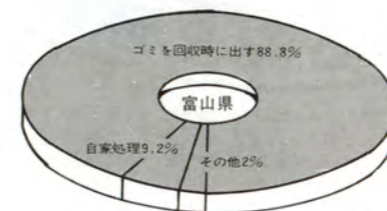


図1. 家庭から出るゴミをどのように処理していますか。

家庭から出るゴミの処理は、「ゴミ回収時」に出すと回答している人が、両結果とも85%を占めています。そのうち、分別収集かどうかについては、全国結果の63・2%に対し、本県では77・6%と若干高い数値を示しています。調査時点で2年間のズレはあるにしても、それでもなお分別収集が進んでいる、と言えましょう。また、今後さらに細分化した分別収集を行なっても、充分対応出来るとする人が多く見られました。(図1 2参照)

図2. お宅の付近ではゴミの分別収集を行っていますか

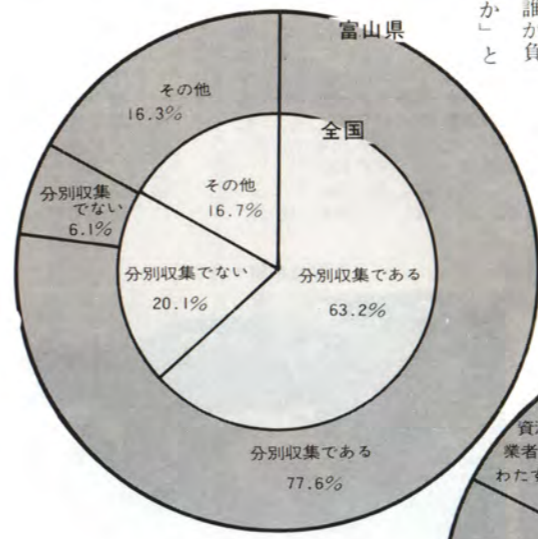
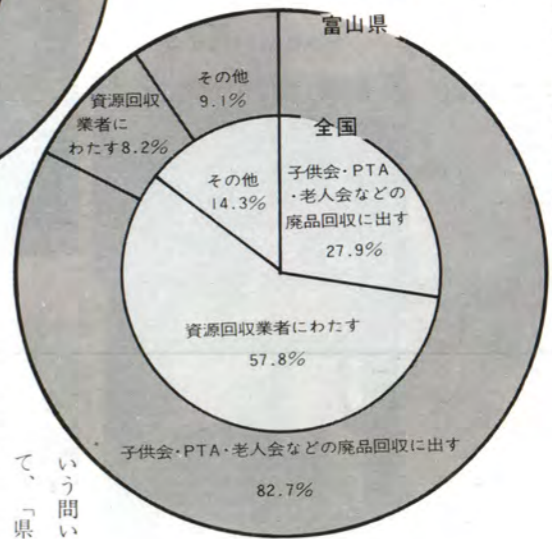


図3. お宅では古新聞・古雑誌をどのように処理していますか



ケートは、富山県消費生活地方相談員一〇四名を対象(うち98人回答、回収率94・2%)とし、内閣総理大臣官房広報室が昭和49年8月に行なった世論調査と同一の項目について行ない、前後2年間のズレはあるにしろ、両者の意識を比較し、消費者としての県民の像を明らかにしようとしたものです。

●粗大ゴミはどのように処理するのか…?

大型電気製品や家具等、「粗大ゴミは誰が処理するのか、その費用は誰が負担するのか」と

●古新聞・古雑誌の処理は…?

用済みになった古新聞紙や古雑誌の処理について、全国結果では「チリ紙交換などの資源回収業者に出す」と回答した人が57・8%であるのに対し、富山県では「子供会・PTA・老人会などの廃品回収に出す」と回答した人が82・7%であり、「資源回収業者に出す」と回答した人は8・2%にすぎません。この理由としては、小学校を中心とした子供会・PTAなどの組織が強力であり、学校を基盤とした地域的な連携が相当に緊密であるためと考えられます。(図3参照)

「粗大ゴミは誰が処理するのか、その費用は誰が負担するのか」という問いに対し、「県や市町村」などの行政が行ない、費用もそこで負担すべきだ、と回答した人は、富山県では18・19%に止まったのに対し、全国結果では約43%となっており、対照的な結果になっています。多くの県民は、行政サービスよりもむしろ、メーカーや販売業者が処理し、粗大ゴミを出した本人が費用負担すべきである、と考

えているように思われます。

(図4・5参照)

●家庭の中での省資源対策は…?

「お宅では、今までに修理に出せばまだ使えるものを捨ててしまったことがありますか」という問に対して40%近くの人が「ある」と回答しています。理由は、「修理代が高つく」等、簡単に修理できるような環境にないというのが大半でありました。このことから、今後商品のアフターサービス体制を充実させることが肝要であると言えま

●県民の消費態度はどのように変わったか…?

一年前と比較して、県民の消費態度はどのように変化してきたかについては、「多少価格は高くても、長もちする商品を選ぶようになった」(62・2%)、「出来るだけ

しかし、一方では「使い捨て商品」の使用方法を変えようと、電気・ガスを出来るだけ節約するようにする、という結果も出ており、省資源に対する県民の意欲が十分うかがわれます。修理して使用するようになった(51・0%)、「包装の簡素化に協力するようになった」(45・9%)などが高い数値を示しており、安定成長時代に対応して、物を大切にしようという消費者の意図が如実に表われてきています。

* *

今回のアンケートは、消費生活地方相談員104名を対象としているため、意識の点で一般県民よりも若干高いという結果が出てくるかも知れません。

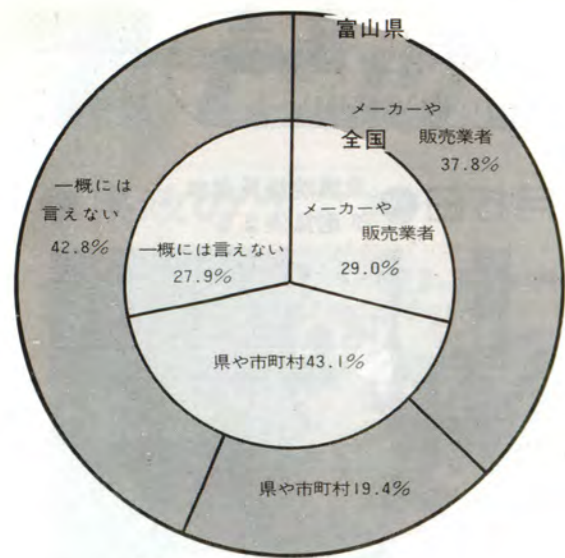


図4. 粗大ゴミは誰が処理すべきだと思いますか

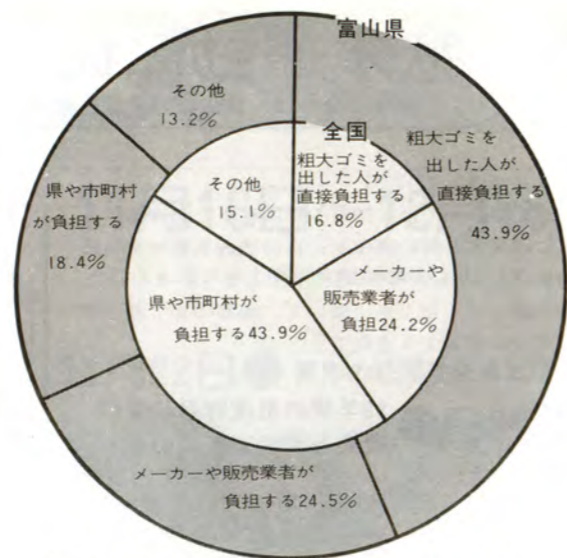


図5. 粗大ゴミを処理する費用は誰が負担すべきだと思いますか

富山県消費生活地方相談員

消費生活地方相談員は、昭和49年度から県下各市町村に最低1名以上配置されています。消費者行政は、消費生活の安定向上を旨とする消費者のための行政ですから、県では消費生活の実態を正しく把握するとともに、できるだけ多くの人々が、苦情相談とか、買物相談が出来るような状態を造らなければなりません。このため、県では消費生活センターを設置し、また移動消費生活センター「明るい暮らし号」を配置するなど、消費者の保護および啓発に努力しています。

しかし、行政の力だけで、広範囲にわたる消費者問題に充分対処することは困難です。そこで、このような問題に関心をお持ちになっている県民の方に消費生活地方相談員になっていただき、地域の住民の方からの消費生活に関する相談に応じてもらうために設置されたのが消費生活地方相談員です。

相談員には、「富山県消費生活地方相談員の証」という菱型のステッカーを渡し、戸口などの見やすい場所に貼るよう指示してありますから、消費生活上、何らかの問題が生じた場合は、この方へ行って相談して下さい。消費生活上の問題に軽重はありません。小さいと思われる問題であっても、一つ一つ解決することによって私たちの消費生活はどれほど快適になるかわかりません。

今後ともどんどんご利用下さるようお願いいたします。

● 県政のうごき

11月16日～12月15日

11月16日 ● 大平大蔵大臣来県、重要な北陸新幹線早期着工に努力すると語る

大平大蔵大臣は総選挙応援のため来県し、記者会見で、「着工が遅れている北陸新幹線は、東海道新幹線のバイパス、更に採算のとれるという点で重要な路線であり、三全総に組入れるよう希望し、大蔵省としても協力することに異論はない」と語りました。

11月16日 ● 富山県建設優良工事表彰



今年の優良工事表彰は、土木部門33、建築部門6、土地改良部門34、治山林道部門12の関係業者が受賞しました。

表彰にあたって中田知事は、こうした不況下でのみなさん方の献身的な努力に対して厚くお礼を申しあげたい」と感謝の言葉をのべました。

11月16日 ● 富山県農村文化賞 5 団体に

明るく豊かな農山漁業の建設に成果をあげた団体の実績をたたえる、富山県農村文化賞(第25回)は、塚越花木植生生産組合(小杉町)女良漁業協同組合(氷見市)こがねグループ(城端町)福光町土地改良区土生新地区・栃折林業研究グループ(八尾町)の5団体に贈られました。

11月19日 ● 北経連と3県知事懇談

北陸経済連合会と北陸3県知事が、富山商工会議所ビルで、3県共通の問題について話し合いました。産業構造の将来ビジョン、景気対策、北陸新幹線早期着工、公的研究機関の拡充、観光の振興など活発な意見交換があり、意見の一致をみました。

11月19日 ● 神通川流域汚染田に左岸350ha追加指定

富山県公害対策審議会が開かれ、神通川流域の左岸地帯で、約350ヘクタールの農地が、土壌汚染防止法に基づく対策地域に追加指定されることになりました。

これによってこの土壌汚染対策地域は、約1,354ヘクタールになりました。

11月22日 ● 青年の船団員無事に帰る



第6回富山県青年の船の一行は、フィリピン訪問17日間の旅を終えて無事に帰ってきました。乗船したセブンシーズ号が、航海中北風にあおられ、予定より1日遅れたため、心配しながら出迎えた団員の家族たちも、元気な顔にホッとした表情でした。

帰富にあたって新田団長は、「日比親善友好の目的を十分果たしてきた。この貴重な体験を生かして郷土の発展に尽したい」。団員代表からは、「青年の責務の大きさをフィリピン青年との交流で深く感じた。今後は富山県を荷負う立派な青年になる」と力強い報告がありました。中田知事は「これからは地域青年の核として、活躍されることを期待する」と励ましました。

11月24日 ● 富山新港グリーンベルト事業費総額85億2,100万円に

富山新港地区緩衝緑地造成(グリーンベルト)事業は、昭和46年に基本構想を作成。公害防止事業団の事業実施を決め、県公害対策審議会は、その費用負担額をこの程答申しました。

県が決めた事業概要は、高岡市(姫野・金尾・石丸)、新湊市(二の丸・作道)におよぶ新港西側背後地に、新港臨海工業地帯から排出される煙害、騒音を防止し、周辺住民の災害時の避難、生活環境を守るためのものとし、植樹帯、芝生広場、園路、運動広場、休憩施設、駐車場など総延長1,300m、幅員220m、面積28ヘクタールにわたって建設するもので、第1期工事の総事業費85億2,100万円かけて、昭和55年3月に完工するとしています。

事業費の負担額の内訳は次のようになることになりました。

国	23億5,900万円
県	22億1,500万円
市	11億 700万円

企業56社28億4,000万円

公害防止事業団では、12月1日に事業完成後施設を富山県に譲渡する契約調印と、富山建設事務所を開設(高岡総合庁舎内)、来年5月に着工します。また、この新港西側の第1期工事に続いて、南側の第2期工事は55年度から着工する方針です。

11月28日 ● 50年度の都道府県決算の概要を自治省まとめる

深刻な不況の影響で地方税収が大幅に落ち込み、都道府県の地方財政50年度決算(普通会計)は、33年以來の低い伸び率となり、実質収入は46年度以來、戦後最大の978億円の赤字となったことが自治省の概算で明らかになりました。

富山県は実質収入で5億2千万円の赤字となっています。

11月29日 ● 県内に初雪

28日夜から29日朝にかけて、平野部に今冬初めての降雪がありました。

気象庁の調べでは、この雪は北極地方を中心とした寒冷な空気をもつ「極渦」と呼ばれる低気圧の動きが原因であるといっています。

11月30日 ● 盛況だった職業訓練展



51年度の職業訓練展は30日(展示会)と12月1日(即売会)の2日間、県民会館B展示場で開かれました。6ヵ月から1年の間に習得した技術で作った作品を、各学校別に展示、一般市民の評判もよく1日の即売には、たちまち売り切れという盛況ぶりをみせ、特に職業訓練センターの敷板に関心が高まりました。

12月1日 ● 今冬の除雪対策本部発足

11月28日からの寒波襲来で、今冬の降雪車発動となったが、県では1日対策本部を発足、積雪15cm以上になれば、いつでも出動する態勢を構えました。各市町村も10日頃までには逐次対策本部を設置、除雪準備に入ります。

12月5日 ● 衆議院議員選挙 6選良決まる



選挙日和としては生憎の雨模様であったためか、投票率は低く72.51%と戦後最低を記録しました。当選者は次の通りでした。

- 1区 住 栄作(自民・現) 88,162票(当2)
- 玉生孝久(自民・新) 84,260票(当1)
- 古川喜一(社会・現) 63,838票(当4)
- 2区 綿貫民輔(自民・現) 87,752票(当3)
- 片岡清一(自民・現) 71,506票(当2)
- 佐野憲治(社会・現) 58,995票(当7)

12月6日 ● 正月用品等監視に物価Gメーン出動

毎月調査している生活必需品(35品目)以外に、正月用食料品や越冬野菜、暖房用品など19品目の表示、価格、需給動向などについて、県の物価Gメーンが12班に分れて富山市・高岡市など5市2町 384店の一斉監視をいたしました。

結果は需給は概ね順調で、価格も全般に横ばい傾向の状況で表示も適切なものが多かったようです。



12月10日 ● 12月定例県議会開催

中田知事から、51年度一般会計補正予算46億6,400万円の前算案と、これに関する提案理由説明等があり、20日までの議会日程に入りました。

(注) 見聞き写真はスガキ印刷提供(井波町依頼)

水郷立山(白薄)

はく ぼ
桜井鴻有作
30号



生涯立山を描き続けた桜井鴻有は高岡市出身の日展常連日本画家である。京都絵専卒業の後、京都師範学校教授として勤務したが、生来の几帳面な性格から作家活動に専念を決意し、郷里の立山へ魅力と執念に燃えて帰郷、終生立山を取材し、逼真の山嶽画家として名作をのこした。

かたわら県日本画連盟委員長を歴任し、本県美術絵画の振興に尽くした功績も多大である。

緻密な写実描写に定評があり、この作品も射水水郷農村の風物をあますところなく忠実に描写、前景の舟のもやい、はさ木にう、とねりこ並木、厚い雲上に聳え立つ剣立山連峰が白薄の夕映えに輝く。微妙に変化する雪と水の表情は当時の射水水郷風物詩と情趣をしのぶ貴重な作品であろう。

佐藤 良正

Vフォーと生活展

10月号の「薬と健康の週間」の欄に薬に対する正しい知識を掲載しましたが、今回ご案内する「くすりと生活展」では、みなさんに薬についていま一步深く知っていただくために、次のとおり各種コーナーを企画しておりますので、多数お誘い合せのうえ、ご来場下さい。

なお、ご来場のみなさんには

花の種子を贈呈いたします。

日時 1月20日(木)～1月24日(月)まで
会場 大和高岡店五階ホール

展示内容

- (1) PR コーナー
パネルにより「くすりの知識」「薬剤師の仕事」などを知っていただきます。
- (2) 展示コーナー
「よく使われている生薬、大衆薬」などを展示し、薬に親しんでいただきます。
- (3) 相談コーナー
薬剤師が、「救急常備薬」「漢方薬」「育児離乳食」など薬に関して、みなさんの相談に応じます。
- (4) 検査コーナー(無料)
みなさんの家庭の飲料水が適正か検査します。また、血液型を判定します。
- (5) 体力測定コーナー
各種の測定を行い、みなさんの健康の指標の一つとしていただきます。



雪国に住む私たちにとって、生鮮食品の品薄や高値は、冬の悩みの一つです。そこで加工食品の利用を考えるわけですが、我が家の味というのを考えた場合、できるだけ手を加えてなく、味つけなども自由にできるものが望ましいといえます。

その点冷凍食品は、食品の品質をそのままの姿で長い間保存するために生まれたものといわれており、利用者も年を追って増加しています。

冷凍食品

積荷限界線(ロードライン)の下に入れてあるもの。
(2) ガッチリ凍っているものがよく、包装が破れていたり、内側に霜のたくさんついているもの(一度解凍したおそれがある)は避ける。
(3) 表示を確かめて、製造年月日の新しいもの、料理法が親切

冷凍食品の品質が良好な状態を維持する標準期間

品目	保存温度	
	-12℃	-18℃
魚類	カ月	カ月
多脂肪のもの	4	8
少脂肪のもの	6	12
えび類		
いせえび(ロブスター)	4	10
生えび(シュリンプ)	6	12
果実類		
あんず	8	24
スライスした桃	8	24
スライスしたいちご	10	18
肉類		
ローストビーフ	8	18
羊肉	7	16
ローストソーセージ	4	10
家禽類		
ローストチキン類	4	10
野菜類		
アスパラガス	6	12
いんげん、さやいんげん	6	12
ブロッコリー	8	16
芽きりフラワー	6	12
軸付きコーン	8	16
軸カットコーン	12	24
にんじん	12	24
グリーンピース	8	16
かぼちゃ類	12	24
ほうれん草	8	16

での利用には、なじみの薄い面もありです。買うときのみどころなどを知ってしようずに利用しましょう。

(1) 冷凍ショーケース内の温度がマイナス18℃以下に保たれ、熱性のある袋や容器を利用するのが理想的。

解凍、調理の方法
(1) 必要なだけ解凍する。
(2) もどしすぎないこと。表面がやわらかくなり、中身がまだ凍っている程度の半解凍にする。
(3) 解凍しただけで調理する。
(4) 表示をよく読んで解凍、調理する。

(4) 検査コーナー(無料)
みなさんの家庭の飲料水が適正か検査します。また、血液型を判定します。

冬期間の血液ピンチをのりきろう

献血にご協力を

冬期間、特に、降雪期は献血量が低下し、血液不足に悩まされる季節です。広く県民の皆さんのご協力をお願いします。

血液はこうに使われます



献血された血液は、成分ごとに分けて、貧血、血友病などの血液疾患や、火傷などの治療に使われます。

また、手術、外傷、出産時などの出血の補給には全血として使われます。



成人記念献血

献血してあなたも
大人の仲間入り!!

人の生命を救う嵩高な心と、健康の証である献血をして心身共に健康で大人の仲間入りを。

1月の身近な献血場所

国鉄富山駅前	1月9日(日)	1月15日(出)	1月29日(出)
国鉄高岡駅前	1月8日(出)	1月15日(出)	1月30日(日)
小矢部市役所前	1月18日(火)		
電鉄桜井駅前	1月22日(出)		
富山県運転教育センター その他各事業所	土曜日、日曜日、祝祭日を除く毎日		

●献血についてのお問い合わせは

富山県赤十字血液センター
富山市牛島本町2丁目1535の4
☎(0764)41-5733
富山県厚生部薬務課
☎(0764)31-4111

みなさんの広報課から「お知らせ」

みなさんの広報課は、県庁の玄関の右側にあります。広報課は、県民のみなさんのご意見やご希望、ご相談を受け県政に反映する〈公聴係〉と、県の施策をみなさんに一日も早くお知らせする〈広報係〉があつて、みなさんと県とのパイプ役として次のような仕事をしています。

●テレビ「みんなの県政」でお楽しみください。

*北日本放送 (KNB)

毎週日曜日、午前9時から30分間放送
県施策を対談・座談会・県政ふるさとめぐりなどでわかりやすく解説しています。

*富山テレビ (T34)

毎週月曜日から土曜日までの毎日、午後5時45分から(土曜日のみ午後5時25分から)5分間放送。
県からのお知らせ、郷土の伝統産業、県内の美術工芸品の紹介、県政紹介などをユニークに放送。

●月刊誌「みんなの県政」は毎月5日頃に発行。
県政施策の解説、生活の知識などを載せています。

●新聞「みんなの県政」は4紙に登載

毎月最終土曜日に、北日本・富山・読売・北陸中日の各新聞に、県政の最近の動きや身近なお知らせを載せています。

●ご相談ごとはお気軽に県民相談室へ

生活上のご相談、県政への希望、ご意見など、気軽に次の相談室をご利用ください。

富山県県民相談室(広報課内)

〒930富山市新総曲輪1の7 ☎(0764)31-3131(直通)

高岡地方県民相談室

〒933高岡市赤祖父211高岡総合庁舎内

☎(0766)21-9411

魚津地方県民相談室

〒937魚津市新宿10-7魚津総合庁舎内

☎(0765)24-5311

砺波地方県民相談室

〒939-13砺波市幸町1-7砺波総合庁舎内

☎(07633)3-5151